



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場取引所 東 大

上場会社名 エーザイ株式会社

コード番号 4523 URL <http://www.eisai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長

(氏名) 内藤 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役専務 PR担当

(氏名) 土屋 裕

TEL 03-3817-5120

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年11月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	288,460	△12.9	37,339	△26.0	34,554	△27.0	24,479	△26.5
24年3月期第2四半期	331,021	△19.7	50,448	△24.9	47,347	△23.8	33,326	△16.6

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 7,370百万円 (18.5%) 24年3月期第2四半期 6,220百万円 (10.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	85.90	85.87
24年3月期第2四半期	116.95	116.94

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第2四半期	921,939	406,131	43.5	1,408.50
24年3月期	1,004,660	423,427	41.5	1,462.53

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 401,427百万円 24年3月期 416,793百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	70.00	—	80.00	150.00
25年3月期	—	70.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	80.00	150.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	610,000	△5.9	87,000	△9.1	82,000	△8.9	59,000	0.8	207.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	296,566,949 株	24年3月期	296,566,949 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	11,562,964 株	24年3月期	11,585,988 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	284,986,539 株	24年3月期2Q	284,963,668 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本発表において提供される資料ならびに情報は、本資料発表日時点における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。予想数値、予想の前提条件その他に関する事項については、9ページをご参照ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信に添付しております。また、平成24年11月1日(木)に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。説明会で配布した資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

## 【添付資料】

### 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	(ページ)
1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
2) 研究開発などの状況	4
3) 連結財政状態に関する定性的情報	7
4) 利益配分に関する考え方および当中間(第2四半期末)配当	8
5) 連結業績予想に関する定性的情報	9
6) コーポレートガバナンスに関連する事項	9
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	10
2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	10
3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	10
3. 四半期連結財務諸表	
1) 四半期連結貸借対照表	11
2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	13
3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
4) 継続企業の前提に関する注記	16
5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	16
6) セグメント情報	16
7) 重要な後発事象	18
8) 注記事項	18

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## 1) 連結経営成績に関する定性的情報

## [売上高、利益の状況]

- 当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～9月30日、以下「当第2四半期」)の連結業績は、次のとおりとなりました。

売上高	2,884億60百万円(前年同期比 12.9%減)
営業利益	373億39百万円(同 26.0%減)
経常利益	345億54百万円(同 27.0%減)
四半期純利益	244億79百万円(同 26.5%減)

- 売上高については、新規抗がん剤「ハラヴェン」、ヒト型抗ヒト TNF $\alpha$ モノクローナル抗体「ヒュミラ」等の新製品群が着実に伸長する一方、アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」とプロトンポンプ阻害剤「パリエット」(米国名「アシフェックス」)が、市場の競合激化や日本における薬価改定等の影響を受け減少した結果、減収となりました。「アリセプト」の売上高は534億26百万円(前年同期比34.3%減)、「パリエット」の売上高は532億78百万円(同15.8%減)であります。がん関連領域製品の売上高は、「ハラヴェン」の貢献により484億87百万円(同4.7%増)となり、連結売上高構成比は前年同期14.0%から16.8%に拡大しました。また、てんかん領域製品の売上高は、AMPA受容体拮抗剤「Fycompa」の欧州における新発売も貢献し、73億81百万円(同11.7%増)と二桁成長を果たしました。
- 利益については、売上高減少に伴う粗利の減少により、営業利益、経常利益および四半期純利益は減益となりましたが、日本・欧州における「アリセプト」物質特許満了後のファイザー社に対する提携費用の減少に加えて、これまで実施してきた構造改革による人件費の減少、全社での費用効率化等により、当第2四半期での営業利益率は第1四半期と同水準の12.9%となりました。  
特別損益は、連結子会社である Eisai Asia Regional Services Pte. Ltd.が同社の子会社である Eisai(Thailand)Marketing Co., Ltd.の増資を引受けたことに伴い負ののれんが発生し、特別利益として計上したこと等により、17億38百万円の利益(純額)(前年同期より5億83百万円減)となりました。
- 四半期純利益が減益となった結果、1株当たり四半期純利益は85円90銭(前年同期より31円6銭減)となりました。
- 四半期純利益に少数株主損益およびその他の包括利益を加減した四半期包括利益は、為替換算調整勘定の変動により73億70百万円(前年同期比18.5%増)となりました。

## [キャッシュ・インカム]

- 当社グループは、キャッシュ創出力を表す経営指標として、キャッシュ・インカムを使用しております。
- キャッシュ・インカムは、成長投資、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。
- 四半期純利益は244億79百万円、有形・無形固定資産の減価償却費は208億31百万円、のれん償却額は37億43百万円、減損損失(投資有価証券評価損含む)は10億73百万円となりました。

- その結果、当第2四半期のキャッシュ・インカムは501億27百万円(前年同期比13.1%減)となり、1株当たりキャッシュ・インカムは175円89銭(前年同期より26円49銭減)となりました。

\*キャッシュ・インカムの算式

当期純損益+有形・無形固定資産減価償却費+インプロセス研究開発費+のれん償却額+減損損失(投資有価証券評価損含む)

\*1株当たりキャッシュ・インカムの算式

キャッシュ・インカム÷期中平均株式数(自己株式控除後)

#### [セグメントの状況]

(各セグメントの売上高は外部顧客に対するものです)

当社グループのセグメントは、医薬品事業とその他事業から構成されており、医薬品事業の各リージョンを報告セグメントとしております。平成25年3月期より、イースト・アジア(日本、中国、韓国、台湾、香港)、アメリカス(北米、中南米)、EMEA(欧州、中東、アフリカ)、インド・パシフィック(Indo-Pacific:南アジア、アセアン、オセアニア)の4つのリージョンを新しい報告セグメントとして構成いたしました。これに伴い、本資料のセグメント情報に関する平成24年3月期の数値を新しい報告セグメントに基づいて記載しております。

#### <イースト・アジア医薬品事業>

- 売上高は1,839億42百万円(前年同期比7.9%減、為替の影響を除いた前年同期比は7.8%減)、セグメント利益は749億7百万円(同10.8%減)となりました。そのうち、日本医薬品事業の売上高は1,677億51百万円(同9.6%減)、セグメント利益は716億14百万円(同11.5%減)となったものの、中国の売上高は、前年同期比25.9%増(現地通貨ベースでは23.8%増)と順調に伸ばいたしました。
- 「アリセプト」の売上高は433億77百万円(前年同期比28.2%減)、「パリエット」の売上高は271億3百万円(同12.8%減)となりました。そのうち、日本医療用医薬品事業においては、薬価改定の影響と競合の激化により「アリセプト」の売上高が403億44百万円(同29.9%減)、「パリエット」の売上高が257億33百万円(同13.2%減)となりました。また、イースト・アジア医薬品事業の「ヒュミラ」の売上高は139億98百万円(同23.0%増)、「ハラヴェン」の売上高は26億99百万円(同358.1%増)となりました。なお、日本においてファイザー社と共同販促を展開している疼痛治療剤(末梢性神経障害性疼痛・線維筋痛症)「リリカ」の共同販促収入は63億26百万円(同30.3%増)となりました。
- 日本において、平成24年4月に不眠症治療薬「ルネスタ」を、同年9月に抗リウマチ薬「ケアラム」を新発売いたしました。

#### <アメリカス医薬品事業>

- 売上高は752億28百万円(前年同期比8.3%減、為替の影響を除いた前年同期比は7.8%減)、セグメント利益は166億53百万円(同7.4%減)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は74億44百万円(前年同期比1.5%増)、「アシフェックス」の売上高は234億8百万円(同18.0%減)、「ハラヴェン」の売上高は57億96百万円(同13.5%増)となりました。

#### <EMEA 医薬品事業>

- 売上高は124億83百万円(前年同期比48.2%減、為替の影響を除いた前年同期比は42.3%減)、セグメント利益は5億78百万円(同84.6%減)となりました。
- 「アリセプト」は物質特許満了による後発品参入の影響を受け、売上高は17億63百万

円(前年同期比86.1%減)となり、また「パリエット」の売上高は19億39百万円(同28.8%減)となりました。「ハラヴェン」の売上高は22億34百万円(同328.8%増)となりました。

- 平成24年9月、「Fycompa」を英国、ドイツ、オーストリア、デンマークで新発売し、てんかん領域製品ラインを拡充いたしました。
- ロシアにおいて、平成24年6月に抗てんかん剤「ゾネグラン」、同年7月に「ハラヴェン」の販売承認を取得し、新発売に向けた準備を開始いたしました。

#### <インド・パシフィック(Indo-Pacific)医薬品事業>

- 売上高は34億19百万円(前年同期比4.0%減、為替の影響を除いた前年同期比は1.3%増)、セグメント利益は8億41百万円(同10.4%減)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は8億41百万円(前年同期比9.6%減)、「パリエット」の売上高は8億26百万円(同13.1%減)、「ハラヴェン」の売上高は37百万円(同110.1%増)となりました。

## 2) 研究開発などの状況

### [開発品の状況]

- 抗がん剤「ハラヴェン」(一般名:エリブリンメシル酸塩)は、乳がんに係る効能・効果で、各国で順次承認を取得し、平成24年10月現在で承認取得国数は42カ国となりました。肉腫を対象として、米国、欧州、アジアにおいてフェーズⅢ試験が、日本でフェーズⅡ試験が進行中です。また、非小細胞肺癌を対象としたフェーズⅢ試験が米国、欧州、日本、アジアにおいて進行中です。乳がん化学療法のセカンドラインをめざした米国、欧州でのフェーズⅢ試験については、試験結果の解析を含め申請に向けた検討を行っております。
- AMPA 受容体拮抗剤「Fycompa」(一般名:ペランパネル)は、12歳以上の部分てんかん併用療法の適応で、平成24年7月に欧州委員会より、同年10月に米国食品医薬品局(FDA)より承認を取得し、同年10月現在の承認取得国数は30カ国となりました。日本、中国、アジアではフェーズⅢ試験が進行中です。全般てんかんの併用療法については、米国、欧州、日本、アジアでフェーズⅢ試験が進行中です。部分てんかんの小児適応では、米国、欧州においてフェーズⅡ試験が進行中です。
- 平成24年4月、日本において、ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体「ヒュミラ」(一般名:アダリムマブ)について、「尋常性乾癬及び関節症性乾癬」適応の承認条件となっていた使用成績調査(全例調査)に関し、厚生労働省から解除通達を受領いたしました。また、平成24年8月、関節リウマチにおける関節の構造的損傷防止に関する効能・効果の追加承認を取得いたしました。なお、関節リウマチにおける「ヒュミラ」の使用は原則として既存治療で効果不十分な場合に限定されますが、抗リウマチ薬の治療歴がない場合でも、関節の構造的損傷の進展が早いと予想される患者様には投与が可能となりました。さらに、平成24年10月、「クローン病」適応の承認条件となっていた使用成績調査(全例調査)についても厚生労働省から解除通達を受領いたしました。
- 平成24年5月、日本において、医薬品製造・販売子会社であるサンノーバ株式会社は、ビタミンK<sub>2</sub>シロップ剤「ケイツーシロップ0.2%」(一般名:メナテレノン)について、新生児・乳児ビタミンK欠乏性出血症に対する予防の効能・効果および用法・用量の追加

承認を取得いたしました。

- 平成 24 年 6 月、欧州において、抗てんかん剤「ゾネグラン」(一般名:ゾニサミド)について、新規に診断されたてんかん患者様の部分発作に対する単剤療法の追加適応の承認を欧州医薬品庁(EMA)より取得いたしました。また、平成 24 年 6 月、ロシアにおいて、「ゾネグラン」の成人部分てんかん発作の併用療法に関する販売承認を取得いたしました。
- 平成 24 年 6 月、日本において、抗リウマチ薬「ケアラム」(一般名:イグラチモド、開発品コード:T-614)について、関節リウマチの効能・効果で製造販売承認を取得いたしました。
- 平成 24 年 5 月、日本において、プロトンポンプ阻害剤「パリエット」(一般名:ラベプラゾールナトリウム)を含む、2 種類のヘリコバクター・ピロリ除菌用 3 剤組み合わせ製剤(パック製剤)、「パリエット」とアモキシシリン水和物に加え、クラリスロマイシンを含む一次除菌用パック製剤、およびメロニダゾールを含む二次除菌用パック製剤)を申請いたしました。また、平成 24 年 8 月、日本において「パリエット」について、アモキシシリン水和物、クラリスロマイシンまたはメロニダゾールを用いた 3 剤併用によるヘリコバクター・ピロリ感染胃炎におけるヘリコバクター・ピロリの除菌療法に係る効能・効果追加について公知申請いたしました。
- 平成 24 年 6 月、欧州において、抗てんかん剤「ゾネグラン」について、6 歳以上の小児の部分てんかんにおける併用療法の適応追加の承認申請が受理されました。
- 平成 24 年 8 月、日本において、抗てんかん剤「E2080」(一般名:ルフィナミド)について、希少疾患であるレノックス・ガストー症候群に対する抗てんかん薬との併用療法に係る適応で承認申請を行いました。
- 抗がん剤「MORAb-004」(モノクローナル抗体)について、肉腫を対象としたフェーズ II 試験を米国、欧州で開始し、進行中です。
- 抗がん剤「E7016」(ポリ ADP リボースポリメラーゼ阻害剤)について、メラノーマを対象としたフェーズ II 試験を米国で開始し、進行中です。
- 血管塞栓用ビーズ「E7040」について、多血性腫瘍を対象としたフェーズ III 試験を日本で開始し、進行中です。
- 平成 24 年 8 月、日本において、抗がん剤「E7080」(一般名:レンバチニブメシル酸塩、マルチキナーゼ阻害剤)が、甲状腺がんを予定される効能・効果として、厚生労働省より希少疾病用医薬品(オーファンドラッグ)の指定を受けました。

#### [主な提携などの状況]

- 平成 24 年 4 月、Teikoku Pharma USA, Inc.(米国)との「アリセプト」経皮吸収製剤に関する日本を除く全世界を対象としたライセンス契約について一部見直しを行い、今後の開発方針に関する意思決定は同社が独自の判断で行い、当社は海外における独占的販売に関する権利についてのオプション権を保有するという契約内容に変更いたしました。今回の変更は、Teikoku Pharma USA, Inc.が米国において行っていた本剤の新薬承認申請について、平成 23 年 4 月に審査完了報告通知を受領した後、平成 24 年 4 月に本申請の取り下げを行ったことを受けたものです。なお、日本における一日 1 回経皮吸収製剤については、平成 23 年 2 月に帝國製薬株式会社(香川県)と締結した独占的ライセンス契約に基づき、従来どおり開発を進めてまいります。

- 平成 24 年 4 月、英国子会社 Eisai Europe Ltd.が、抗がん剤「ハラヴェン」の中東欧地域における販売提携契約を Valeant Pharmaceuticals International, Inc. (カナダ)の子会社である PharmaSwiss S.A. (スイス)と締結いたしました。
- 平成 24 年 4 月、米国研究子会社 H3 Biomedicine Inc.が、個別化医療の研究ツールを提供する世界有数のベンチャー企業である Horizon Discovery Limited (英国)と、新規抗がん剤標的候補分子の同定とバリデーション(妥当性の検証)に関する共同研究契約を締結いたしました。
- 平成 24 年 6 月、日本においてファイザー社と共同販促契約を締結している末梢性神経障害性疼痛治療剤「リリカ カプセル」に関し、ファイザー社が「線維筋痛症に伴う疼痛」の新たな効能・効果の承認を取得いたしました。
- 平成 24 年 6 月、米国子会社 Eisai Inc.が米国 Arena Pharmaceuticals, Inc.のスイス子会社 Arena Pharmaceuticals GmbH(以下、Arena 社)と米国における独占的商業化に係るライセンス契約を締結している肥満症治療剤「Belviq」(一般名:lorcaserin hydrochloride)について、BMI が 30kg/m<sup>2</sup> 以上、あるいは少なくとも 1 つ以上の合併症を患う BMI が 27kg/m<sup>2</sup> 以上の成人患者様の体重管理を目的とした食事療法と運動療法に対する補助療法として、FDA より承認を取得いたしました。なお、米国における「Belviq」の販売承認権は、平成 24 年 7 月、Eisai Inc.が Arena 社より承継しております。また、平成 24 年 5 月、Eisai Inc.は、「Belviq」についての独占的商業化に関するライセンス契約の対象地域をメキシコ、ブラジル、カナダ等を含む米州 20 カ国に拡大することを Arena 社と合意いたしました。
- 平成 24 年 7 月、米国子会社 Eisai Inc.が米国の Verastem, Inc.と、がん幹細胞を標的とする Wnt シグナル阻害剤の創出に向けた共同研究契約を締結いたしました。
- 平成 24 年 9 月、顧みられない熱帯病であるシャーガス病およびリーシュマニア症に対するワクチン開発支援を目的として、セービンワクチン研究所(米国)に対して、ワクチンアジュバント「E6020」および本化合物の関連情報を提供する契約を締結いたしました。
- 平成 24 年 9 月、参天製薬株式会社(大阪府)と、当社が保有する化合物について、参天製薬株式会社による眼科領域における優先評価権およびライセンス契約に係る優先交渉権に関するオプション契約を締結いたしました。
- 平成 24 年 10 月、マラリアと顧みられない熱帯病に対する治療薬およびワクチン開発を目的として、オズワルドクルス財団(ブラジル)と包括的な共同研究に向けた提携に合意いたしました。本提携のもと、最初のプロジェクトとして、活性型 TLR9 アンタゴニスト「E6446」およびその類縁化合物を脳マラリアの治療薬として共同研究開発いたします。

#### [その他]

- 平成 24 年 4 月、中東・北アフリカ地域における事業展開の拠点として、ドバイにリージョナルオフィスを開設いたしました。これに先立ち、バーレーンのリージョナルオフィスは閉鎖いたしました。
- 英国国立医療技術評価機構(NICE)が公開した抗がん剤「ハラヴェン」の最終評価決定に対して当社は不服申し立てを申請しておりましたが、平成 24 年 4 月、NICE は局所進行性・転移性乳がんに対する治療薬として本剤を推奨しない旨の技術評価ガイダンスを発行しました。NICE による決定後もイングランドでは政府のキャンサー・ドラッグズ・ファンド(NICE ガイダンスが未推奨の抗がん剤等を公費で助成する抗がん剤特別基金)を利用して「ハラヴェン」による治療を受けることができます。

- 平成 24 年 4 月、抗がん剤「ハラヴェン」は、ドイツの独立した医療制度の最高意思決定機関であるドイツ連邦合同委員会 (G-BA) により、複数の抗がん剤による前治療歴のある局所進行性・転移性乳がん患者様において、G-BA が定義した治療法に比較して追加ベネフィットを有していると評価されました。
- 平成 24 年 7 月、神戸医療産業都市にある研究開発子会社の株式会社カン研究所が、関西イノベーション国際戦略総合特区における特定国際戦略事業への進出法人として神戸市からの指定を受けるとともに、研究基盤の強化および研究規模を拡大することを目的に、同地区内の新研究施設へ移転することを決定いたしました。
- 平成 24 年 8 月、米国子会社 Morphotek, Inc. は、早期臨床試験用の抗体製造用パイロットプラントを同社が所在するペンシルバニア州に新設いたしました。
- 平成 24 年 10 月、当社グループの生産マネジメント体制について、従来の製造サイトをベースにした体制から、製品群別のグローバルに統合されたユニット体制に移行いたしました。これにより、患者様の真のニーズを把握し、患者様満足を実現する製品を提供するという「エンド・トゥ・エンド」の責任を明確にした生産体制を構築することをめざします。新体制は、当社の製品ポートフォリオとテクノロジー戦略に鑑み、5 つの製品領域ユニット(デマンドチェーンユニット: DCU)と、2 つの機能ユニット(コアファンクションユニット: CFU)で構成され、各ユニットが自律したマネジメントを行います。DCU は、製品毎に原料調達から、製造、包装、出荷に至るあらゆる生産活動に対するアカウントビリティーをもつプロダクトチャンピオン(製品責任者)を配し、その強いオーナーシップのもと、顧客満足を実現する製品をお届けする責任を持ちます。一方、品質保証や製造委託先の管理などユニット共通の機能に関しては、CFU がその専門性をもって各 DCU の活動を支援します。さらに、これらのユニットの自律性を保ちつつ、エーザイデマンドチェーンシステムズにおける全体最適を追求すべく、戦略企画、組織・人財管理およびリスクマネジメントの機能からなるデマンドチェーンヘッドクォーターを設置いたしました。
- 当社グループは個別化医療をめざしたプロダクトクリエーション体制を強化すべく、体外診断薬開発機能の再編をいたしました。平成 24 年 6 月、コンパニオン診断薬を含む体外診断薬の早期開発をめざし、当社のバイオマーカー研究を担うバイオマーカー・パーソナライズド・メディスン (BP) 機能ユニットと診断薬事業子会社エーディア株式会社の診断薬研究開発機能を融合し、BP 機能ユニット内に体外診断薬開発部を新設いたしました。また、平成 24 年 10 月、当社グループの診断薬研究開発子会社である株式会社パルマビーズ研究所を、平成 25 年 3 月 31 日付けで発展的に解散することを決定し、新設した診断薬開発部にその機能を集約いたします。

### 3) 連結財政状態に関する定性的情報

#### [資産等の状況]

- 当第 2 四半期末の資産合計は 9,219 億 39 百万円 (前期末より 827 億 20 百万円減) となりました。1 年内返済予定の長期借入金の返済による現金及び預金の減少、為替変動による海外子会社資産の円換算額の減少等により、資産が減少いたしました。
- 負債合計は、5,158 億 8 百万円 (前期末より 654 億 23 百万円減) となりました。1 年内返済予定の長期借入金の返済等により負債が減少いたしました。
- 純資産合計は 4,061 億 31 百万円 (前期末より 172 億 96 百万円減) となり、自己資本比率は 43.5% (同 2.1 ポイント増) となりました。また、負債比率 (Net DER) は、前期末と同

水準の 0.38 倍となりました。

\*負債比率(Net DER)の算式:(有利子負債(借入金+社債)-現預金-有価証券)÷自己資本

#### [キャッシュ・フローの状況]

- 営業活動から得たキャッシュ・フローは、368 億 68 百万円(前年同期より 4 億 93 百万円増)となりました。税金等調整前四半期純利益は 362 億 92 百万円、減価償却費は 208 億 31 百万円となりました。また、法人税等の支払額は、前年同期より 123 億 90 百万円減少し、123 億 10 百万円となりました。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、313 億 91 百万円の収入(前年同期より 193 億 60 百万円増)となりました。長期借入金返済の原資として3カ月超預金を取崩したことによります。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、631 億 81 百万円の支出(前年同期より 2 億 50 百万円減)となりました。1 年内返済予定の長期借入金の返済が 400 億円、配当金の支払額が 227 億 98 百万円となりました。
- 以上の結果、当第 2 四半期末における現金及び現金同等物は、1,122 億 96 百万円(前期末より 2 億 70 百万円減)となりました。

#### 4)利益配分に関する考え方および当中間(第 2 四半期末)配当

剰余金の配当については、連結業績、連結純資産配当率(DOE)およびキャッシュ・インカムを総合的に勘案し、株主の皆様へ継続的・安定的に実施しております。

DOEは、株主の皆様への利益配分を示す配当性向(DPR)と、株主の皆様が投資した資金を使いどれだけ効果的に利益を出せたかを示す自己資本当期純利益率(ROE)の2つの要素を含んでおります。

キャッシュ・インカムは、企業のキャッシュ創出力を表わしております。その用途は、株主様への配当支払い、成長投資および借入金返済等の財務体質の強化などであり、それぞれに対し中期的に3分の1ずつバランスよく配分することが重要であると考えております。

このような観点から、連結業績に加えDOEならびにキャッシュ・インカムの配分を総合的に勘案することは、中期的な株主還元指標としてバランスのとれた相応しいものと考えております。また、自己株式の取得に関しては、適切な時期に実施いたします。

当社は委員会設置会社であり、剰余金の配当等に関しては機動的に行うことを目的として取締役会決議とすることを定款に定めております。

当中間(第 2 四半期末)配当金は、株主の皆様への継続的・安定的な配当という基本方針に基づき、1 株当たり 70 円(前年同期と同額)とさせていただきます。

5) 連結業績予想に関する定性的情報(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

[連結業績予想]

- 通期の連結業績予想については、変更しておりません。

(%表示:対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	610,000	△5.9	87,000	△9.1	82,000	△8.9	59,000	0.8	207.03

(第3・4四半期の前提為替レート:1米ドル80円、1ユーロ105円、1ポンド120円)

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。
- 当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。
- 海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、ジェネリック医薬品に関するリスク、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性および品質に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、内部統制の整備等に関するリスクならびに災害等に関するリスク

なお、上記リスク項目の詳細に関しては、当社の有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

6) コーポレートガバナンスに関連する事項

(1) 基本的な考え方

当社グループは、定款に定める「企業理念」の実現を通じて、企業価値を向上させ、株主の皆様様の共同の利益を長期的に増大し、もって株主の皆様様に当社の株式を安心して長期に保有いただくことを可能とするため、常に最良のコーポレートガバナンスを追求し、次の基本的な考え方に沿って、その充実に継続的に取り組んでおります。

① 株主の皆様との関係

- ・株主の皆様様の権利を尊重する。
- ・株主の皆様様の平等性を確保する。
- ・株主の皆様を含む当社のステークホルダーズとの良好・円滑な関係を構築する。
- ・会社情報を適切に開示し、透明性を確保する。

## ② コーポレートガバナンスの体制

- ・当社は委員会設置会社とする。
- ・取締役会は、法令の許す範囲で業務執行の意思決定を執行役に大幅に委任し、経営の監督機能を発揮する。
- ・取締役会の過半数は、独立性のある社外取締役とする。
- ・執行役を兼任する取締役は、代表執行役社長 1 名のみとする。
- ・経営の監督機能を明確にするため、取締役会の議長と代表執行役社長とを分離する。
- ・指名委員会および報酬委員会の委員は、全員を社外取締役とし、監査委員会の委員は、その過半数を社外取締役とする。
- ・指名委員会、監査委員会および報酬委員会の各委員長は社外取締役とする。
- ・財務報告の信頼性確保をはじめとした内部統制の体制を充実する。

なお、当社のコーポレートガバナンスガイドライン、取締役会規則、指名委員会規則、監査委員会規則、報酬委員会規則、およびコーポレートガバナンスシステムに関する状況を当社のホームページ (<http://www.eisai.co.jp/company/governance/index.html>) に掲載しております。また、「コーポレートガバナンス報告書」を東京証券取引所ならびに大阪証券取引所へ報告し、両取引所ならびに当社のホームページに掲載しておりますのでご参照ください。

## (2)「当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針」

当社は、社外取締役全員で構成する経営陣から独立した社外取締役独立委員会を設置しており、当委員会は、「当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針」(以下、本対応方針)の継続、見直し、廃止および本対応方針を運用する役割を担っております。

平成 24 年 6 月 21 日に開催された社外取締役独立委員会では、本対応方針が、以下の 3 点の仕組みを有しており、一部記載形式の変更は行うが、内容としては現行で継続することを当社取締役会に提案する旨を決議しました。

- ①経営陣の恣意性が排除されている。
- ②毎年、継続、見直し、廃止が検討される。
- ③取締役選任議案をもって、本対応方針に対する株主の皆様のご意向を反映できる。

社外取締役独立委員会より提案された上記の内容を旨とする議案は、平成 24 年 8 月 1 日開催の取締役会において審議し、提案通りに決議しました。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- 1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- 2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- 3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	104,444	60,226
受取手形及び売掛金	197,166	180,183
有価証券	83,737	91,280
商品及び製品	43,108	47,706
仕掛品	18,283	16,951
原材料及び貯蔵品	13,804	14,802
繰延税金資産	42,479	42,543
その他	22,974	26,746
貸倒引当金	△163	△114
流動資産合計	525,835	480,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	85,580	81,174
その他(純額)	57,998	54,287
有形固定資産合計	143,578	135,461
無形固定資産		
のれん	119,054	108,731
販売権	65,338	58,668
技術資産	40,492	37,424
その他	13,755	13,054
無形固定資産合計	238,640	217,879
投資その他の資産		
投資有価証券	39,079	38,057
繰延税金資産	45,101	44,085
その他	12,586	6,281
貸倒引当金	△163	△152
投資その他の資産合計	96,605	88,271
固定資産合計	478,824	441,612
資産合計	1,004,660	921,939

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,205	23,169
短期借入金	6,000	6,054
1年内返済予定の長期借入金	40,000	15,520
1年内償還予定の社債	—	49,998
未払金	41,540	41,844
未払費用	56,021	42,851
未払法人税等	11,289	14,305
売上割戻引当金	16,473	13,668
その他の引当金	681	488
その他	9,718	6,585
流動負債合計	207,932	214,487
固定負債		
社債	79,994	29,997
長期借入金	219,314	201,040
繰延税金負債	23,019	19,566
退職給付引当金	31,385	24,723
役員退職慰労引当金	600	602
その他	18,986	25,390
固定負債合計	373,300	301,320
負債合計	581,232	515,808
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	44,985	44,985
資本剰余金	56,898	56,891
利益剰余金	464,176	465,857
自己株式	△39,422	△39,343
株主資本合計	526,638	528,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,241	933
繰延ヘッジ損益	△1,054	△1,097
為替換算調整勘定	△110,032	△126,798
その他の包括利益累計額合計	△109,844	△126,963
新株予約権	990	1,044
少数株主持分	5,643	3,658
純資産合計	423,427	406,131
負債純資産合計	1,004,660	921,939

2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	331,021	288,460
売上原価	85,600	84,944
売上総利益	245,420	203,516
返品調整引当金繰入額	71	19
差引売上総利益	245,348	203,496
販売費及び一般管理費	※1 194,900	※1 166,157
営業利益	50,448	37,339
営業外収益		
受取利息	358	509
受取配当金	535	397
その他	204	164
営業外収益合計	1,097	1,071
営業外費用		
支払利息	3,536	3,399
為替差損	534	200
その他	127	255
営業外費用合計	4,199	3,856
経常利益	47,347	34,554
特別利益		
固定資産売却益	13	568
投資有価証券売却益	483	132
退職給付信託設定益	1,881	—
負ののれん発生益	—	1,960
その他	2	204
特別利益合計	2,379	2,866
特別損失		
固定資産処分損	51	53
減損損失	—	778
投資有価証券評価損	—	295
その他	6	0
特別損失合計	57	1,127
税金等調整前四半期純利益	49,669	36,292
法人税、住民税及び事業税	14,208	13,899
法人税等調整額	1,924	△2,265
法人税等合計	16,133	11,633
少数株主損益調整前四半期純利益	33,536	24,659
少数株主利益	209	180
四半期純利益	33,326	24,479

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,536	24,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,853	△322
繰延ヘッジ損益	△250	△43
為替換算調整勘定	△25,211	△16,923
その他の包括利益合計	△27,315	△17,289
四半期包括利益	6,220	7,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,271	7,360
少数株主に係る四半期包括利益	△50	9

3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	49,669	36,292
減価償却費	20,733	20,831
のれん償却額	3,610	3,743
負ののれん発生益	—	△1,960
その他の損益(△は益)	316	2,916
売上債権の増減額(△は増加)	△649	13,750
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,091	△6,009
仕入債務の増減額(△は減少)	3,225	△2,815
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△11,419	△11,081
売上割戻引当金の増減額(△は減少)	△6,962	△1,929
その他	7,339	△1,946
小計	63,771	51,792
利息及び配当金の受取額	969	792
利息の支払額	△3,665	△3,405
法人税等の支払額	△24,701	△12,310
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,374	36,868
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,489	△5,304
無形固定資産の取得による支出	△2,401	△6,900
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3,526	△2,267
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	18,173	2,645
過年度子会社株式売却代金の回収による収入	—	6,167
3カ月超預金の純増減額(△は増加)	4,994	36,005
その他	280	1,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,030	31,391
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	54
長期借入金の返済による支出	—	△40,000
社債の償還による支出	△40,000	—
配当金の支払額	△22,796	△22,798
その他	△635	△436
財務活動によるキャッシュ・フロー	△63,431	△63,181
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,550	△5,348
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△21,576	△270
現金及び現金同等物の期首残高	102,800	112,567
現金及び現金同等物の四半期末残高	81,224	112,296

4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6) セグメント情報

当第1四半期連結会計期間より、当連結グループは報告セグメントの区分方法を変更しております(報告セグメントの区分方法に関しましては、17頁の報告セグメントの変更等に関する事項をご参照ください)。

I. 前第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

変更後の区分方法により作成した前第2四半期連結累計期間の報告セグメントの売上高、利益(又は損失)に関する情報は次のとおりです。

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益(又は損失)金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント(注1)					その他 (注2)	合計
	医薬品事業						
	イースト・アジア	アメリカス	EMEA	インド・パシフィック	計		
外部顧客への売上高	199,618	81,994	24,109	3,562	309,285	21,735	331,021
セグメント利益	83,976	17,990	3,753	939	106,660	10,697	117,358

(注)1 各報告セグメントに属する主な国または地域は次のとおりです。

- ①イースト・アジア: 日本、中国、韓国、台湾、香港
- ②アメリカス: 北米、中南米
- ③EMEA (Europe/Middle East/Africa): 欧州、中東、アフリカ
- ④インド・パシフィック (Indo-Pacific): 南アジア、アセアン、オセアニア

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品原料・製薬用機械などに係る事業を含んでおります。

(2) 報告セグメントの利益(又は損失)の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメントの利益計	106,660
「その他」の区分の利益	10,697
研究開発費(注1)	△62,922
親会社の本社管理費等(注2)	△3,987
四半期連結損益計算書の営業利益	50,448

(注)1 当連結グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。

2 親会社の本社管理費等は、当連結グループ全体の運営に係る費用であるため、セグメントに配分していません。

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益(又は損失)金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント(注1)					その他 (注2)	合計
	医薬品事業						
	イースト・アジア	アメリカス	EMEA	インド・パシフィック	計		
外部顧客への売上高	183,942	75,228	12,483	3,419	275,073	13,386	288,460
セグメント利益	74,907	16,653	578	841	92,981	6,309	99,290

(注)1 各報告セグメントに属する主な国または地域は次のとおりです。

- ①イースト・アジア:日本、中国、韓国、台湾、香港
- ②アメリカス:北米、中南米
- ③EMEA(Europe/Middle East/Africa):欧州、中東、アフリカ
- ④インド・パシフィック(Indo-Pacific):南アジア、アセアン、オセアニア

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品原料などに係る事業を含んでおります。

(2) 報告セグメントの利益(又は損失)の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメントの利益計	92,981
「その他」の区分の利益	6,309
研究開発費(注1)	△57,445
親会社の本社管理費等(注2)	△4,505
四半期連結損益計算書の営業利益	37,339

(注)1 当連結グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

2 親会社の本社管理費等は、当連結グループ全体の運営に係る費用であるため、セグメントに配分しておりません。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結グループのセグメントは、医薬品事業とその他事業から構成されており、医薬品事業の各リージョンを報告セグメントとしております。

当連結グループは、従来、医薬品事業をイースト・アジア(日本、中国、韓国、台湾、香港)、米国、欧州、ニューマーケット・アセアン(ブラジル、メキシコ、ロシア、カナダ、オーストラリア、インド、中東、東南アジア等)の4リージョン体制としておりましたが、カナダ、メキシコ、ブラジルをはじめとする新市場に対するマネジメントを各リージョンから直接行うことを目的に、当第1四半期連結会計期間より4リージョンの担当地域を再編いたしました。新たな4リージョン体制は、イースト・アジア(日本、中国、韓国、台湾、香港)、アメリカス(北米、中南米)、EMEA(欧州、中東、アフリカ)、インド・パシフィック(Indo-Pacific:南アジア、アセアン、オセアニア)です。

この再編に合わせて報告セグメントの区分方法を変更し、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報に反映しております。

## (4) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

アメリカス医薬品事業において、一部の医療用医薬品の独占的権利について減損損失を認識しております。当該減損損失の計上額は、当第 2 四半期連結累計期間においては 778 百万円です。

(重要な負ののれん発生益)

インド・パシフィック医薬品事業において、連結子会社である Eisai Asia Regional Services Pte. Ltd.が同社の子会社である Eisai(Thailand)Marketing Co., Ltd.の増資を受けたことに伴い、負ののれんが発生いたしました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第 2 四半期連結累計期間においては 1,960 百万円です。

## 7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 8) 注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりです。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 9 月 30 日)
研究開発費	62,922 百万円	57,445 百万円
販売諸費	52,541	40,232
給料及び賞与	28,636	25,863



*hvc*  
human health care

証券コード： 4523

2012.9

# 参 考 資 料

平成 25 年 3 月期第 2 四半期決算

2012 年 11 月 1 日

お問い合わせ

エーザイ株式会社

PR 部・IR 部

TEL 03-3817-5120 FAX 03-3811-3077

<http://www.eisai.co.jp/ir/>

### 【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものです。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、ジェネリック医薬品に関するリスク、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性および品質に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、内部統制の整備等に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク

## 目次

1. 連結財務ハイライト	1
2. 連結損益計算書	3
3. 連結キャッシュ・フロー計算書	5
4. セグメント情報	6
5. セグメント別売上高予想	11
6. 連結貸借対照表	12
7. 連結四半期業績の推移	14
8. 個別情報	18
9. 株式の状況	19
10. 子会社・関連会社	21
11. 従業員数	23
12. 主なニュースリリース	24
13. 主要開発品	26

- \* 当資料中の数字は、切捨表示のある場合を除き、四捨五入で表示しております。
- \* 当資料の作成に用いた為替レートは、下表のとおりです。
- \* 海外の損益情報については、期中平均レートを用いて円換算しております。

### 為替レート

	米国 (円/米ドル)	欧州 (円/ユーロ)	英国 (円/ポンド)	中国 (円/人民元)
2012年3月期 期中平均レート	79.81	113.79	129.33	12.34
第2四半期累計 期末日レート	76.65	104.11	119.77	12.04
2012年3月期 期中平均レート	79.08	108.97	126.22	12.36
期末日レート	82.19	109.80	131.34	13.06
2013年3月期 期中平均レート	79.41	100.63	125.52	12.55
第2四半期累計 期末日レート	77.60	100.24	125.98	12.33
2013年3月期 予想レート	80.00	105.00	120.00	12.50

### 【本資料の記載項目について】

当社グループでは、企業評価において最も本質的な能力はキャッシュ創出力と考えております。この基本的考え方に基づき、真の収益力を反映することを目的として、企業買収などで発生するのれん償却額や一括費用計上するインプロセス研究開発費、また、有形・無形固定資産の減価償却費、減損損失（投資有価証券評価損含む）という非キャッシュ損益項目を調整した「キャッシュ・インカム」「1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）」を表示しております。

#### \* キャッシュ・インカム

成長投資、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。

算式：当期純損益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額  
＋減損損失（投資有価証券評価損含む）

#### \* 1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）

算式：キャッシュ・インカム÷期中平均株式数（自己株式控除後）

### 【セグメント情報について】

当社グループのセグメントは、医薬品事業とその他事業から構成されており、医薬品事業の各リージョンを報告セグメントとしております。2013年3月期より、イースト・アジア（日本、中国、韓国、台湾、香港）、アメリカス（北米、中南米）、EMEA（欧州、中東、アフリカ）、インド・パシフィック（Indo-Pacific：南アジア、アセアン、オセアニア）の4つのリージョンを新しい報告セグメントとして構成いたしました。これに伴い、本資料のセグメント情報に関する2012年3月期の数値を新しい報告セグメントに基づいて記載しております。

## 1. 連結財務ハイライト

### 1) 損益計算書項目

	第2四半期累計			通期	
	2012年	2013年	前年同期比 %	2012年	2013年
	3月期	3月期		3月期	3月期(予)
売上高	3,310	2,885	87.1	6,480	6,100
売上原価	857	850	99.2	1,734	1,760
研究開発費	629	574	91.3	1,251	1,260
販売費・一般管理費	1,320	1,087	82.4	2,537	2,210
営業利益	504	373	74.0	957	870
経常利益	473	346	73.0	900	820
四半期(当期)純利益	333	245	73.5	585	590
キャッシュ・インカム	577	501	86.9	1,077	1,075
四半期包括利益又は包括利益	62	74	118.5	556	—
1株当たり配当金(DPS/円)	70.0	70.0	前年同期差 —	150.0	150.0
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS/円)	117.0	85.9	△31.1	205.3	207.0
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	202.4	175.9	△26.5	377.8	377.2

\*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

### 2) キャッシュ・フロー計算書項目

	第2四半期累計			通期	
	2012年	2013年	増減額	2012年	3月期
	3月期	3月期		3月期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	364	369	5	906	
投資活動によるキャッシュ・フロー	120	314	194	△26	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△634	△632	3	△780	
現金及び現金同等物の期末残高	812	1,123	311	1,126	
フリー・キャッシュ・フロー	287	256	△31	714	

\*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

### 3) 貸借対照表項目

	2012年		増減額
	3月末	9月末	
総資産	10,047	9,219	△827
負債	5,812	5,158	△654
社債	800	800	0
借入金	2,653	2,226	△427
純資産	4,234	4,061	△173
自己資本	4,168	4,014	△154
自己資本比率(%)	41.5	43.5	2.1
負債比率(Net DER/倍)	0.38	0.38	△0.00

\*負債比率(Net DER)＝(有利子負債(借入金＋社債)－現預金－有価証券)／自己資本

#### 4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	第2四半期累計			通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	増減額	2012年 3月期
資本的支出額	69	114	45	207
有形固定資産	45	36	△9	127
無形固定資産	24	78	54	80
減価償却費	207	208	1	417

\*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

#### 5) セグメント情報

##### (1) 報告セグメント別売上高

(億円)

	第2四半期累計			通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
イースト・アジア 医薬品事業	1,996	1,839	92.1	4,004
日本 医薬品事業	1,856	1,678	90.4	3,726
アメリカス 医薬品事業	820	752	91.7	1,575
米国 医薬品事業	820	751	91.6	1,574
EMEA 医薬品事業	241	125	51.8	427
インド・パシフィック (Indo-Pacific) 医薬品事業	36	34	96.0	67
その他	217	134	61.6	407
連結売上高	3,310	2,885	87.1	6,480

\*外部顧客に対する売上高を示しております。

##### (2) 報告セグメント別利益

(億円)

	第2四半期累計		
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %
イースト・アジア 医薬品事業	840	749	89.2
日本 医薬品事業	809	716	88.5
アメリカス 医薬品事業	180	167	92.6
EMEA 医薬品事業	38	6	15.4
インド・パシフィック (Indo-Pacific) 医薬品事業	9	8	89.6
その他	107	63	59.0
研究開発費	629	574	91.3
親会社の本社管理費等	40	45	113.0
連結営業利益	504	373	74.0

\*当社グループのセグメントは、医薬品事業とその他事業から構成されており、医薬品事業の各リージョンを報告セグメントとしております。

\*当社グループは、医薬品事業をイースト・アジア（日本、中国、韓国、台湾、香港）、アメリカス（北米、中南米）、EMEA（欧州、中東、アフリカ）、インド・パシフィック（Indo-Pacific：南アジア、アセアン、オセアニア）で構成し、各リージョンの特性に応じた戦略を企画・推進しており、医薬品事業では、主に医療用医薬品の製造・販売を行っております。

なお、当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。また、親会社の本社管理費等は、当社グループ全体の運営に係る費用であるため、セグメントに配分しておりません。

## 2. 連結損益計算書

	第2四半期累計						通期	
	2012年 3月期	売上比 %	2013年 3月期	売上比 %	前年同期比 %	増減額	2012年 3月期	売上比 %
売上高	3,310	100.0	2,885	100.0	87.1	△426	6,480	100.0
売上原価	857	25.9	850	29.5	99.2	△7	1,734	26.8
売上総利益	2,453	74.1	2,035	70.5	82.9	△419	4,746	73.2
研究開発費	629	19.0	574	19.9	91.3	△55	1,251	19.3
販売費・一般管理費	1,320	39.9	1,087	37.7	82.4	△233	2,537	39.1
人件費	399	12.0	335	11.6	84.1	△64	745	11.5
販売費	657	19.9	524	18.2	79.7	△133	1,271	19.6
管理費他	264	8.0	228	7.9	86.4	△36	521	8.0
営業利益	504	15.2	373	12.9	74.0	△131	957	14.8
営業外収益	11	0.3	11	0.4		△0	20	0.3
営業外費用	42	1.3	39	1.3		△3	77	1.2
経常利益	473	14.3	346	12.0	73.0	△128	900	13.9
特別利益	24	0.7	29	1.0		5	63	1.0
特別損失	1	0.0	11	0.4		11	17	0.3
税金等調整前四半期（当期）純利益	497	15.0	363	12.6	73.1	△134	946	14.6
法人税、住民税及び事業税	142	4.3	139	4.8		△3	286	4.4
法人税等調整額	19	0.6	△23	△0.8		△42	71	1.1
少数株主損益調整前四半期（当期）純利益	335	10.1	247	8.5	73.5	△89	589	9.1
少数株主利益	2	0.1	2	0.1		△0	4	0.1
四半期（当期）純利益	333	10.1	245	8.5	73.5	△88	585	9.0

\*売上原価には返品調整引当金繰入（戻入）額を含めて表示しております。

### <キャッシュ・インカム>

四半期（当期）純利益	333	10.1	245	8.5	73.5	△88	585	9.0
有形・無形固定資産減価償却費	126		124				257	
買収に伴う無形固定資産減価償却費	81		85				160	
のれん償却額	36		37				70	
減損損失（投資有価証券評価損含む）	—		11				5	
キャッシュ・インカム	577	17.4	501	17.4	86.9	△75	1,077	16.6

### <コメント>

売上高	・アリセプト279億円の減少、バリエット／アシフェックス100億円の減少、ハラヴェン45億円の増加、ヒュミラ26億円の増加
売上原価率の上昇	・日本の薬価改定の影響、日本・欧州のアリセプトの売上高減少に伴う品目ミックスの変化
研究開発費の減少	・大型臨床試験の終了など
販売費・一般管理費の減少	・日本、欧州におけるアリセプト提携費用の減少、人件費の減少、全社での販売費・一般管理費の効率化
特別損益	・連結子会社が親会社を引受先とする増資を行ったことによる負ののれん発生益、減損損失など

<連結包括利益計算書>

(億円)

	第2四半期累計				通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	増減額	2012年 3月期
少数株主損益調整前四半期（当期）純利益	335	247	73.5	△89	589
その他の包括利益	△273	△173	—	100	△33
その他有価証券評価差額金	△19	△3	—	15	11
繰延ヘッジ損益	△3	△0	—	2	△2
為替換算調整勘定	△252	△169	—	83	△42
四半期包括利益又は包括利益	62	74	118.5	11	556
（内訳）					
親会社株主に係る包括利益	63	74	117.4	11	553
少数株主に係る包括利益	△1	0	—	1	3

### 3. 連結キャッシュ・フロー計算書

	(億円)		
	第2四半期累計		
	2012年 3月期	2013年 3月期	増減額
税金等調整前四半期純利益	497	363	△134
減価償却費・のれん償却額	243	246	2
負ののれん発生益	-	△20	△20
売上債権・仕入債務及びたな卸資産の増減額	5	49	44
未払金・未払費用等の増減額	△114	△111	3
その他	7	△10	△16
(小計)	638	518	△120
利息等の受取及び支払額	△27	△26	1
法人税等の支払額	△247	△123	124
営業活動によるキャッシュ・フロー	364	369	5
資本的支出等(キャッシュベース)	△77	△113	△36
有価証券・投資有価証券の取得・売却等	146	4	△143
過年度子会社株式売却代金の回収による収入	-	62	62
3カ月超預金の純増減額	50	360	310
その他	1	2	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	120	314	194
短期借入金の純増減額	-	1	1
長期借入金の返済による支出	-	△400	△400
社債の償還による支出	△400	-	400
配当金の支払額	△228	△228	△0
その他	△6	△4	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△634	△632	3
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66	△53	12
現金及び現金同等物の増減額	△216	△3	213
現金及び現金同等物の期首残高	1,028	1,126	98
現金及び現金同等物の期末残高	812	1,123	311
フリー・キャッシュ・フロー	287	256	△31

\*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

#### <コメント>

##### ■営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・前期の課税所得減少による法人税等の当期支払額の減少

##### ■投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・長期借入金の返済の原資として3カ月超預金の取崩による増加

##### ■財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・現金配当による支出、長期借入金の返済による支出

## 4. セグメント情報

### 1) イースト・アジア 医薬品事業（日本、中国、韓国、台湾、香港）

（億円）

	第2四半期累計			通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
売上高	1,996	1,839	92.1 <92.2>	4,004
セグメント利益	840	749	89.2	1,674

#### イースト・アジア 売上高明細

<b>日本 売上高</b>		1,856	1,678	90.4	3,726
医療用医薬品		1,659	1,460	88.0	3,312
一般用医薬品等		105	103	97.7	217
ジェネリック医薬品（エルメッド エーザイ）		63	86	135.6	137
診断薬（エーディア）		29	29	98.7	60
<b>日本 医療用医薬品 主力品売上高</b>					
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト		576	403	70.1	1,083
プロトンポンプ阻害剤 パリエット		297	257	86.8	609
末梢性神経障害治療剤 メチコバル		150	134	89.2	300
ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体 ヒュミラ		97	118	122.1	205
疼痛治療剤（末梢性神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ（共同販促収入）		49	63	130.3	113
経口抗凝固剤 ワーファリン		48	51	105.9	99
骨粗鬆症治療剤 アクトネル		57	46	81.1	110
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス		51	40	79.2	100
抗がん剤 ハラヴェン		6	27	457.9	31
<b>日本 一般用医薬品等 主力品グループ売上高</b>					
ビタミンB <sub>2</sub> 主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ		58	57	99.9	113
<b>中国 売上高</b>	億円	83	105	125.9 <123.8>	169
<b>中国 主力品売上高</b>					
末梢性神経障害治療剤 メチコバル	億円 (百万人民元)	38 (305)	45 (356)	118.9 <117.0>	75 (605)
肝臓疾患用剤・アレルギー用剤 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠	億円 (百万人民元)	17 (139)	23 (180)	132.5 <130.3>	37 (303)
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円 (百万人民元)	7 (61)	11 (86)	144.4 <141.9>	16 (131)
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円 (百万人民元)	5 (42)	7 (53)	129.7 <127.6>	12 (95)

\*前年同期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しております。

## 2) アメリカス 医薬品事業 (北米、中南米)

		第2四半期累計		
		2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	820	752	91.7 <92.2>
セグメント利益	億円	180	167	92.6
<b>アメリカス 主力品売上高</b>				
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	億円 (百万米ドル)	285 (358)	234 (295)	82.0 <82.4>
制吐剤 Aloxi	億円	183	179	97.7 <98.2>
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	183 (229)	179 (225)	97.7 <98.2>
DNAメチル化阻害剤 Dacogen	億円 (百万米ドル)	85 (106)	88 (110)	103.4 <103.9>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円 (百万米ドル)	73 (92)	74 (94)	101.5 <102.0>
抗がん剤 ハラヴェン	億円	51	58	113.5 <114.1>
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	51 (64)	58 (73)	113.1 <113.7>
血液凝固阻害剤 Fragmin	億円 (百万米ドル)	73 (91)	53 (67)	73.6 <74.0>

\*アリセプトの2013年3月期第2四半期累計の売上高のうち、アリセプト錠23mgの売上高は30億円(37百万米ドル)です。

\*アリセプト、アシフェックス、Dacogen、Fragminの自社販売国は、米国のみです。

## 3) EMEA 医薬品事業 (欧州、中東、アフリカ)

		第2四半期累計		
		2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	241	125	51.8 <57.7>
セグメント利益	億円	38	6	15.4
<b>EMEA 主力品売上高</b>				
抗がん剤 ハラヴェン	億円	5	22	428.8 <476.3>
てんかん治療剤 ゾネグラン	億円	23	22	93.8 <104.6>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円	27	19	71.2 <79.1>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円	127	18	13.9 <15.7>

\*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しております。

#### 4) Indo-Pacific 医薬品事業（南アジア、アセアン、オセアニア）

		第2四半期累計		
		2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	36	34	96.0 <101.3>
セグメント利益	億円	9	8	89.6
<b>Indo-Pacific 主力品売上高</b>				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円	9	8	90.4 <95.6>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円	10	8	86.9 <92.9>
末梢性神経障害治療剤 メチコバル	億円	4	5	114.3 <119.1>
抗がん剤 ハラヴェン	億円	0	0	210.1 <213.8>

\*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しております。

## 5) 主力品売上高

### (1) がん関連領域製品

	単位	第2四半期累計			通期
		2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
がん関連領域製品計	億円	463	485	104.7 <105.9>	931
ハラヴェン (抗がん剤)	億円	62	108	172.7 <177.2>	160
イースト・アジア	億円	6	27	458.1 <458.1>	31
日本 医療用医薬品	億円	6	27	457.9	31
アメリカス	億円	51	58	113.5 <114.1>	109
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	51 (64)	58 (73)	113.1 <113.7>	109 (137)
EMEA	億円	5	22	428.8 <476.3>	20
Indo-Pacific	億円	0	0	210.1 <213.8>	0
Aloxi (制吐剤)	億円	183	179	97.7 <98.2>	345
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	183 (229)	179 (225)	97.7 <98.2>	345 (436)
Dacogen (DNAメチル化阻害剤)	億円 (百万米ドル)	85 (106)	88 (110)	103.4 <103.9>	173 (219)
Fragmin (血液凝固阻止剤)	億円 (百万米ドル)	73 (91)	53 (67)	73.6 <74.0>	139 (176)
トレアキシシン/シンベンダ (抗がん剤)	億円	16	18	110.6 <110.7>	32
その他	億円	44	39	89.2 <91.8>	82

\*Dacogen、Fragminの自社販売国は米国のみです。

### (2) アリセプト (アルツハイマー型認知症治療剤)

	単位	第2四半期累計			通期
		2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
アリセプト計	億円	814	534	65.7 <66.2>	1,471
イースト・アジア	億円	604	434	71.8 <72.0>	1,138
日本 医療用医薬品	億円	576	403	70.1	1,083
アメリカス	億円 (百万米ドル)	73 (92)	74 (94)	101.5 <102.0>	114 (144)
EMEA	億円	127	18	13.9 <15.7>	201
Indo-Pacific	億円	9	8	90.4 <95.6>	17

\*アリセプトの2013年3月期第2四半期累計の売上高のうち、アリセプト錠23mgの売上高は30億円 (37百万米ドル) です。

\*アメリカスは、米国のみがアリセプト自社販売国になります。

\*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しております。

### (3) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害剤)

		第2四半期累計			通期
		2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
パリエット/アシフェックス計	億円	633	533	84.2 <84.8>	1,264
イースト・アジア	億円	311	271	87.2 <87.3>	636
日本 医療用医薬品	億円	297	257	86.8	609
アメリカス	億円 (百万米ドル)	285 (358)	234 (295)	82.0 <82.4>	559 (707)
EMEA	億円	27	19	71.2 <79.1>	52
Indo-Pacific	億円	10	8	86.9 <92.9>	17

\*アメリカスは、米国のみがアシフェックスの自社販売国になります。

### (4) ヒュミラ (ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体)

		第2四半期累計			通期
		2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
ヒュミラ計	億円	114	140	123.0 <123.9>	240
イースト・アジア	億円	114	140	123.0 <123.9>	240
日本 医療用医薬品	億円	97	118	122.1	205

### 6) 海外売上高

	第2四半期累計			(億円)
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
海外売上高	1,373	1,142	83.2	2,583
海外売上高比率 (%)	41.5	39.6	—	39.9

\*外部顧客に対する売上高を示しております。

\*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しております。

## 5. セグメント別売上高予想（2013年3月期）

	(億円)		
	第2四半期累計 2013年 3月期	通期 2012年 3月期      2013年 3月期(予)	
<b>イースト・アジア</b>	1,839	4,004	4,005
<b>日本</b>	1,678	3,726	3,705
<b>医療用医薬品</b>	1,460	3,312	3,230
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	403	1,083	900
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	257	609	530
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	134	300	280
ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体 ヒュミラ	118	205	280
経口抗凝固剤 ワーファリン	51	99	100
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	46	110	100
抗がん剤 ハラヴェン	27	31	100
<b>一般用医薬品等</b>	103	217	220
ビタミンB <sub>2</sub> 主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	57	113	120
<b>ジェネリック医薬品（エルメッド エーザイ）</b>	86	137	190
<b>診断薬（エーティア）</b>	29	60	65
<b>中国</b>	105	169	200
<b>アメリカス</b>	752	1,575	1,530
<b>米国</b>	751	1,574	1,520
<b>EMEA</b>	125	427	310
<b>Indo-Pacific</b>	34	67	70
<b>その他</b>	134	407	185
<b>連結売上高</b>	2,885	6,480	6,100

\*新報告セグメント別の2012年3月期の売上高は「参考値」として表示しております。

\*アリセプトの2013年3月期の売上高予想の総計は1,120億円を見込んでおります。

\*パリエット／アシフェックスの2013年3月期の売上高予想の総計は1,085億円を見込んでおります。

\*ハラヴェンの2013年3月期の売上高予想の総計は285億円を見込んでおります。

## 6. 連結貸借対照表

### 1) 貸借対照表<資産の部>

(億円)

	2012年 3月末	構成比 %	2012年 9月末	構成比 %	前期末比 %	増減額
流動資産	5,258	52.3	4,803	52.1	91.3	△455
現金及び預金	1,044		602			△442
受取手形及び売掛金	1,972		1,802			△170
有価証券	837		913			75
たな卸資産	752		795			43
繰延税金資産	425		425			1
その他	230		267			38
貸倒引当金	△2		△1			0
固定資産	4,788	47.7	4,416	47.9	92.2	△372
有形固定資産	1,436	14.3	1,355	14.7	94.3	△81
建物及び構築物	856		812			△44
その他	580		543			△37
無形固定資産	2,386	23.8	2,179	23.6	91.3	△208
のれん	1,191		1,087			△103
販売権	653		587			△67
技術資産	405		374			△31
その他	138		131			△7
投資その他の資産	966	9.6	883	9.6	91.4	△83
投資有価証券	391		381			△10
繰延税金資産	451		441			△10
その他	126		63			△63
貸倒引当金	△2		△2			0
資産合計	10,047	100.0	9,219	100.0	91.8	△827

### <コメント>

#### ■資産合計

- ・長期借入金400億円の返済による現金及び預金の減少
- ・為替変動による海外子会社資産の円換算額の減少

2) 貸借対照表<負債及び純資産の部>

(億円)

	2012年 3月末	構成比 %	2012年 9月末	構成比 %	前期末比 %	増減額
流動負債	2,079	20.7	2,145	23.3	103.2	66
支払手形及び買掛金	262		232			△30
短期借入金	60		61			1
1年内返済予定の長期借入金	400		155			△245
1年内償還予定の社債	—		500			500
未払金・未払費用	976		847			△129
未払法人税等	113		143			30
売上割戻引当金	165		137			△28
その他	104		71			△33
固定負債	3,733	37.2	3,013	32.7	80.7	△720
社債	800		300			△500
長期借入金	2,193		2,010			△183
繰延税金負債	230		196			△35
退職給付引当金	314		247			△67
その他	196		260			64
負債合計	5,812	57.9	5,158	55.9	88.7	△654
株主資本	5,266	52.4	5,284	57.3	100.3	18
資本金	450		450			—
資本剰余金	569		569			△0
利益剰余金	4,642		4,659			17
自己株式	△394		△393			1
その他の包括利益累計額	△1,098	△10.9	△1,270	△13.8	115.6	△171
その他有価証券評価差額金	12		9			△3
繰延ヘッジ損益	△11		△11			△0
為替換算調整勘定	△1,100		△1,268			△168
新株予約権	10	0.1	10	0.1	105.5	1
少数株主持分	56	0.6	37	0.4	64.8	△20
純資産合計	4,234	42.1	4,061	44.1	95.9	△173
負債純資産合計	10,047	100.0	9,219	100.0	91.8	△827

<コメント>

■負債合計

- ・長期借入金の返済400億円等により負債が減少

■純資産合計

- ・円高による海外子会社純資産の円換算額の減少

## 7. 連結四半期業績の推移

### 1) 損益計算書項目

(億円)

	2012年3月期				2013年3月期	
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
売上高	1,673	1,637	1,738	1,432	1,469	1,416
売上原価	430	427	436	441	432	418
研究開発費	337	292	310	313	284	291
販売費・一般管理費	684	636	674	543	562	525
営業利益	222	282	318	135	191	182
経常利益	212	262	306	121	179	166
四半期純利益	135	198	159	93	119	126
キャッシュ・インカム	259	318	280	220	243	259
四半期包括利益	47	15	182	313	△11	85
1株当たり四半期純利益 (EPS/円)	47.4	69.6	55.7	32.7	41.7	44.2
1株当たりキャッシュ・インカム (キャッシュEPS/円)	90.8	111.6	98.3	77.2	85.1	90.8

\*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

### 2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2012年3月期				2013年3月期	
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	78	286	185	358	283	86
投資活動によるキャッシュ・フロー	282	△162	△19	△127	72	242
財務活動によるキャッシュ・フロー	△631	△3	68	△213	△206	△426
現金及び現金同等物の期末残高	739	812	1,049	1,126	1,233	1,123
フリー・キャッシュ・フロー	42	245	144	283	223	33

\*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

### 3) 貸借対照表項目

(億円)

	2012年3月期				2013年3月期	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
総資産	9,596	9,432	9,705	10,047	9,772	9,219
負債	5,672	5,494	5,784	5,812	5,777	5,158
社債	800	800	800	800	800	800
借入金	2,584	2,560	2,836	2,653	2,661	2,226
純資産	3,923	3,939	3,921	4,234	3,995	4,061
自己資本	3,861	3,877	3,858	4,168	3,929	4,014
自己資本比率 (%)	40.2	41.1	39.8	41.5	40.2	43.5
負債比率 (Net DER/倍)	0.56	0.47	0.49	0.38	0.39	0.38

\*負債比率 (Net DER) = (有利子負債(借入金+社債) - 現預金 - 有価証券) / 自己資本

#### 4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2012年3月期				2013年3月期	
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
資本的支出額	27	42	48	90	70	44
有形固定資産	18	27	26	56	13	22
無形固定資産	9	16	22	33	56	22
減価償却費	105	102	102	108	102	106

\*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

## 5) 主力品売上高

### (1) がん関連領域製品

		2012年3月期				2013年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
<b>がん関連領域製品計</b>	億円	240	223	228	240	252	233
<b>ハラヴェン</b>	億円	26	36	46	51	55	53
イースト・アジア	億円	—	6	12	13	13	14
日本 医療用医薬品	億円	—	6	12	13	13	14
アメリカス	億円	25	26	28	30	31	27
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	25 (31)	26 (33)	28 (35)	30 (38)	31 (39)	27 (34)
EMEA	億円	1	4	6	8	10	12
Indo-Pacific	億円	0	0	0	0	0	0
<b>Aloxi</b>	億円	97	86	76	86	95	84
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	97 (118)	86 (111)	76 (98)	86 (109)	95 (119)	84 (107)
<b>Dacogen</b>	億円 (百万米ドル)	49 (60)	36 (46)	43 (56)	45 (57)	44 (55)	44 (55)
<b>Fragmin</b>	億円 (百万米ドル)	35 (43)	37 (48)	35 (46)	31 (40)	29 (36)	25 (32)
<b>トリアキシン/シンベンダ</b>	億円	8	8	8	7	9	9
その他	億円	25	19	19	19	20	19

\*Dacogen、Fragminの自社販売国は米国のみです。

### (2) アリセプト

		2012年3月期				2013年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
<b>アリセプト計</b>	億円	420	393	420	237	273	262
イースト・アジア	億円	300	304	352	183	233	201
日本 医療用医薬品	億円	285	290	337	171	217	186
アメリカス	億円 (百万米ドル)	47 (57)	26 (35)	21 (27)	20 (25)	24 (30)	51 (64)
EMEA	億円	68	59	44	30	12	6
Indo-Pacific	億円	5	4	4	4	4	4

\*アメリカスは、米国のみがアリセプト自社販売国になります。

### (3) パリエット/アシフェックス

		2012年3月期				2013年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
パリエット/アシフェックス計	億円	332	301	349	282	285	248
イースト・アジア	億円	155	156	188	138	138	133
日本 医療用医薬品	億円	148	149	181	131	131	127
アメリカス	億円 (百万米ドル)	158 (194)	127 (164)	144 (186)	129 (163)	132 (164)	102 (131)
EMEA	億円	14	13	14	11	12	8
Indo-Pacific	億円	4	5	3	4	4	4

\*アメリカスは、米国のみがアシフェックスの自社販売国になります。

### (4) ヒュミラ

		2012年3月期				2013年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
ヒュミラ計	億円	55	59	66	60	68	72
イースト・アジア	億円	55	59	66	60	68	72
日本 医療用医薬品	億円	46	50	57	51	58	61

## 8. 個別情報

### 1) 個別財務ハイライト

#### (1) 損益計算書項目

	第2四半期累計			通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
売上高	2,092	1,784	85.3	4,082
売上原価	465	491	105.4	947
研究開発費	585	541	92.4	1,163
販売費・一般管理費	660	549	83.2	1,303
営業利益	381	204	53.5	669
経常利益	361	184	51.0	629
四半期(当期)純利益	264	132	50.1	424

\*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

#### (2) キャッシュ・フロー計算書項目

	第2四半期累計			通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	増減額	2012年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	340	223	△118	635
投資活動によるキャッシュ・フロー	173	359	185	47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△633	△631	2	△777
現金及び現金同等物の期末残高	111	85	△26	135
フリー・キャッシュ・フロー	299	157	△142	523

\*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

#### (3) 貸借対照表項目

	2012年		増減額
	3月末	9月末	
総資産	9,427	8,859	△568
負債	4,141	3,673	△468
社債	800	800	0
借入金	2,160	1,760	△400
純資産	5,286	5,186	△100
自己資本	5,276	5,175	△100
自己資本比率(%)	56.0	58.4	2.5

### 2) 売上高の状況

	第2四半期累計			通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
売上高	2,092	1,784	85.3	4,082
医療用医薬品	1,661	1,460	87.9	3,310
一般用医薬品等	106	103	97.7	219
工業所有権等収益	131	21	15.8	184
医薬品輸出	190	195	102.3	357
その他	5	6	116.2	12

## 9. 株式の状況

### 1) 発行株式数・株主数の状況

2012年9月30日現在

発行可能株式総数	発行済株式の総数	自己株式数	株主数	株主1人当たりの平均持株数
1,100,000,000株	296,566,949株	11,562,964株	99,004	2,996株

\*発行済株式の総数は自己株式数を含めて表示しております。

### 2) 大株主の状況

2012年9月30日現在

株主名	持株数	持株比率 %
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	21,283千株	7.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	17,064千株	5.75
日本生命保険相互会社	15,344千株	5.17
株式会社埼玉りそな銀行	8,300千株	2.80
SSBT ODO5 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	7,590千株	2.56
エーザイ従業員持株会	7,193千株	2.43
ジェーピー モルガン チェース バンク 385147	5,333千株	1.80
株式会社みずほコーポレート銀行	4,680千株	1.58
公益財団法人内藤記念科学振興財団	4,207千株	1.42
資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口）	2,974千株	1.00

\*自己株式は11,562千株（3.90%）であり、議決権がないため除いております。

\*株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

### 3) 所有者別株主数推移

	2012年 3月末	構成比 %	2012年 9月末	構成比 %	増減
金融機関	184	0.2	164	0.2	△20
金融商品取引業者（証券会社）	48	0.0	45	0.0	△3
その他の法人	1,134	1.0	1,080	1.1	△54
外国法人等	540	0.5	524	0.5	△16
個人・その他	109,480	98.3	97,190	98.2	△22,290
自己株式	1	0.0	1	0.0	0
合計	111,387	100.0	99,004	100.0	△12,383

### 4) 所有者別所有株式数推移

	2012年 3月末	構成比 %	2012年 9月末	構成比 %	増減
金融機関	111,157千株	37.5	113,148千株	38.2	1,990千株
金融商品取引業者（証券会社）	9,402千株	3.2	8,885千株	3.0	△516千株
その他の法人	23,949千株	8.1	23,785千株	8.0	△164千株
外国法人等	56,283千株	19.0	62,642千株	21.1	6,358千株
個人・その他	84,186千株	28.4	76,542千株	25.8	△7,644千株
自己株式	11,585千株	3.9	11,562千株	3.9	△23千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	-

\*株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

## 5) 所有株数別株主数推移

	2012年 3月末	構成比 %	2012年 9月末	構成比 %	増減
100万株以上	49	0.0	51	0.1	2
10万~100万株未満	152	0.1	151	0.2	△1
1万~10万株未満	1,082	1.0	1,007	1.0	△75
1,000~1万株未満	21,837	19.6	19,414	19.6	△2,423
100~1,000株未満	83,135	74.6	73,353	74.1	△9,782
100株未満	5,132	4.6	5,028	5.1	△104
合計	111,387	100.0	99,004	100.0	△12,383

## 6) 所有株数別分布推移

	2012年 3月末	構成比 %	2012年 9月末	構成比 %	増減
100万株以上	162,573千株	54.8	173,043千株	58.3	10,469千株
10万~100万株未満	46,130千株	15.6	44,178千株	14.9	△1,951千株
1万~10万株未満	24,144千株	8.1	22,543千株	7.6	△1,600千株
1,000~1万株未満	43,292千株	14.6	38,828千株	13.1	△4,464千株
100~1,000株未満	20,248千株	6.8	17,799千株	6.0	△2,449千株
100株未満	177千株	0.1	173千株	0.1	△4千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	-

\*株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

## 10. 子会社・関連会社

### 1) 連結子会社(48社)

#### (1) 海外(38社)

2012年9月30日現在

会社名	所在地	資本金または 出資金	議決権の 所有割合 %	主な事業内容
Eisai Corporation of North America	米国 ニュージャージー州	3,416,700 千USD	100.00	米州持株会社
Morphotek, Inc.	米国 ペンシルバニア州	355,000 千USD	100.00	医薬品の研究開発
Eisai Inc.	米国 ニュージャージー州	151,600 千USD	100.00	医薬品の研究開発・製造・販売
H3 Biomedicine Inc.	米国 マサチューセッツ州	8 千USD	100.00	医薬品の研究開発
Eisai Ltd.	カナダ オンタリオ州	10,000 千CAD	100.00	医薬品の販売
Eisai Laboratórios Ltda.	ブラジル サンパウロ	1,000 千BRL	100.00	—
Eisai Laboratorios S. de R.L. de C.V.	メキシコ メキシコシティ	50 千MXN	100.00	—
Eisai Europe Ltd.	英国 ハートフォードシャー	184,137 千GBP	100.00	欧州統括・持株会社、 医薬品の販売
Eisai Ltd.	英国 ハートフォードシャー	46,008 千GBP	100.00	医薬品の研究開発・販売
Eisai Manufacturing Ltd.	英国 ハートフォードシャー	38,806 千GBP	100.00	医薬品の製造
Eisai GmbH	ドイツ フランクフルト	7,669 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai S.A.S.	フランス パリ	19,500 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai B.V.	オランダ アムステルダム	540 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai Farmacéutica S.A.	スペイン マドリッド	4,000 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai S.r.l.	イタリア ミラノ	3,500 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai Pharma AG	スイス チューリッヒ	3,000 千CHF	100.00	医薬品の販売
Eisai AB	スウェーデン ストックホルム	10,000 千SEK	100.00	医薬品の販売
Eisai Farmacêutica, Unipessoal Lda.	ポルトガル リスボン	4,000 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai SA/NV	ベルギー ブリュッセル	2,000 千EUR	100.00	—
Eisai GesmbH	オーストリア ウィーン	2,000 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai Asia Regional Services Pte. Ltd.	シンガポール	34,468 千SGD	100.00	アジア持株会社
Eisai (Singapore) Pte. Ltd.	シンガポール	300 千SGD	100.00	医薬品の販売
Eisai Clinical Research Singapore Pte. Ltd.	シンガポール	10 千SGD	100.00	医薬品の研究開発
衛材(中国)薬業有限公司	中国 江蘇省	576,125 千人民元	100.00	医薬品の製造・販売
衛材(蘇州)貿易有限公司	中国 江蘇省	20,000 千人民元	100.00	医薬品の販売
Eisai (Hong Kong) Co., Ltd.	中国 香港	500 千HKD	100.00	医薬品の販売
PT Eisai Indonesia	インドネシア ジャカルタ	5,000 千USD	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai (Malaysia) Sdn. Bhd.	マレーシア ペタリンジャヤ	470 千MYR	100.00	医薬品の販売
Eisai (Thailand) Marketing Co., Ltd.	タイ バンコク	103,000 千THB	94.65	医薬品の販売
衛采製薬股份有限公司	台湾 台北	270,000 千TWD	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai Korea Inc.	韓国 ソウル	3,512 百万KRW	100.00	医薬品の販売
HI-Eisai Pharmaceutical Inc.	フィリピン マニラ	62,000 千PHP	50.00	医薬品の販売
Eisai Pharmatechnology & Manufacturing Pvt. Ltd.	インド アンドラ・プラデシュ州	2,704 百万INR	100.00	医薬品の工業化研究・製造
Eisai Pharmaceuticals India Pvt. Ltd.	インド マハラシュトラ州	160 百万INR	100.00	医薬品の販売
Eisai Australia Pty. Ltd.	オーストラリア シドニー	1,000 千AUD	100.00	医薬品の販売

(その他3社)

\*当社の連結子会社は衛材(中国)薬業有限公司、衛材(蘇州)貿易有限公司(共に12月決算)を除き3月決算であります。

なお、これらの連結子会社は連結決算日での仮決算を行っております。

\*HI-Eisai Pharmaceutical Inc. の持分は100分の50以下であります。実質的に支配しているため、連結子会社としております。

\*Eisai Asia Regional Services Pte. Ltd.が同社の子会社であるEisai (Thailand) Marketing Co., Ltd.の増資を引受けたことに伴い、議決権の所有割合が49.91%から94.65%に増加いたしました。

\*資本金または出資金は切捨てて表示しております。

## (2) 国内 (10社)

2012年9月30日現在

会社名	所在地	資本金	議決権の 所有割合 %	主な事業内容
エーディア株式会社	東京都千代田区	5,262 百万円	100.00	診断用医薬品等の製造・販売
サンノーバ株式会社	群馬県太田市	926 百万円	80.01	医薬品の製造・販売
エルメッド エーザイ株式会社	東京都豊島区	450 百万円	100.00	医薬品の販売
エーザイフード・ケミカル株式会社	東京都中央区	101 百万円	100.00	食品添加物、化学品等の販売
株式会社カン研究所	兵庫県神戸市	70 百万円	100.00	医薬品の研究開発
エーザイ物流株式会社	神奈川県厚木市	60 百万円	100.00	医薬品の搬送
株式会社バルマビーズ研究所	東京都千代田区	50 百万円	100.00	診断用医薬品等の研究開発
エーザイ・アール・アンド・ディー・ マネジメント株式会社	東京都文京区	13 百万円	100.00	医薬品の研究開発の管理・運営
株式会社サンブラネット	東京都文京区	455 百万円	84.89	業務サービス、給食、印刷、 不動産の管理
エーザイ生科研株式会社	熊本県西原村	50 百万円	70.37	農業用資材の製造・販売

\*資本金は切捨てて表示しております。

## 2) 持分法適用関連会社 (1社)

2012年9月30日現在

会社名	所在地	資本金	議決権の 所有割合 %	主な事業内容
ブラッコ・エーザイ株式会社	東京都文京区	340 百万円	49.00	造影剤の輸入・製造・販売

\*ブラッコ・エーザイ株式会社は12月決算であります。

\*資本金は切捨てて表示しております。

## 11. 従業員数

### 1) 連結従業員数

	(人)			
	2010年 3月末	2011年 3月末	2012年 3月末	2012年 9月末
連結期末従業員数	11,415	11,560	10,730	10,688
日本	5,675	5,636	5,472	5,374
米州	2,701	2,559	1,843	1,872
欧州	1,015	1,015	872	854
アジア他	2,024	2,350	2,543	2,588

### 2) 個別従業員数

	(人)			
	2010年 3月末	2011年 3月末	2012年 3月末	2012年 9月末
個別期末従業員数	4,367	4,322	4,184	4,099
生産	774	757	708	670
研究	1,236	1,196	1,062	1,030
販売・管理	2,357	2,369	2,414	2,399

\*期末従業員数は、就業人員数（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む）を表示しております。

## 12. 主なニュースリリース

年月日	概要	
2012年4月	2日	・ アジア・オセアニア・中東・東欧等における皮膚T細胞リンパ腫治療剤「Targretin」に関するライセンス契約を締結
	3日	・ 子会社エーディアが大腸検査CTコロノグラフィー用の炭酸ガス送気装置「プロトCO2L」について、医用機器メーカーと売買契約を締結
	5日	・ 抗がん剤「ハラヴェン」、ファーマスイス社と中東欧地域における販売提携を締結
	17日	・ 不眠症治療薬「ルネスタ」、日本で新発売
	20日	・ アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」、経皮吸収型製剤に関するTeikoku Pharma USAとの契約の一部変更について
	23日	・ ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体「ヒュミラ」、尋常性乾癬及び関節症性乾癬に関する承認条件（全例調査）の解除について ・ 抗がん剤「ハラヴェン」、ドイツ規制当局が局所進行性・転移性乳がんにおける追加ベネフィットを支持
2012年5月	2日	・ 米国研究子会社「H3 Biomedicine Inc.」、英国Horizon社とがん患者様遺伝子情報に基づくがん標的分子の同定とバリデーションにおける共同研究契約を締結
	8日	・ 関節リウマチ患者様のためのヒュミラ治療継続サポートオンラインプログラム「myHUMIRA（マイヒュミラ）」を開始
	11日	・ 肥満症治療剤「Belviq」、米国食品医薬品局（FDA）諮問委員会が有用性を支持 ・ 肥満症治療剤「Belviq」、アリーナ社とライセンス地域拡大に関する契約を締結
	15日	・ 当社の使用人に対しストックオプションとして新株予約権を発行
	18日	・ エーザイのがん領域の開発品・製品に関する最新試験データを第48回米国臨床腫瘍学会年次総会で発表
	22日	・ 逆流性食道炎患者様のためのモバイル用服薬サポート「逆食NAVI（ナビ）」開設
	25日	・ ビタミンK <sub>2</sub> シロップ剤「ケイツーシロップ0.2%」、日本で新生児・乳児ビタミンK欠乏性出血症に対する予防の効能・効果および用法・用量の追加承認を取得
	28日	・ 抗てんかん剤「ソネグラン」、単剤療法について欧州医薬品委員会より承認勧告を受領 ・ AMPA受容体拮抗剤「Fycompa」、欧州医薬品委員会より抗てんかん剤として承認勧告を受領
	31日	・ プロトンポンプ阻害剤「パリエット」、日本でヘリコバクター・ピロリ除菌用の3剤併用パック製剤を申請
	2012年6月	21日
22日		・ 末梢性神経障害性疼痛治療剤「リリカ カプセル」、日本で線維筋痛症に伴う疼痛に関する追加適応の承認を取得
27日		・ 抗てんかん剤「ソネグラン」、ロシアで初めてのエーザイ製品として販売承認を取得
28日		・ 肥満症治療剤「Belviq」、米国食品医薬品局（FDA）が成人の肥満症に対する処方薬として13年ぶりに新薬承認
29日		・ 抗リウマチ薬「ケアラム錠」、日本で製造販売承認を取得
2012年7月	3日	・ 抗てんかん剤「ソネグラン」、欧州医薬品庁が小児適応に関する追加申請を受理 ・ 抗てんかん剤「ソネグラン」、単剤療法について欧州医薬品庁より承認を取得
	4日	・ 「チョコラBBフレッシュII」、日本で新発売
	9日	・ スtockオプション（新株予約権）の発行内容等確定に関するお知らせ
	10日	・ 抗がん剤「ハラヴェン」、局所進行性・転移性乳がんにおけるカペシタピンを比較対照とした第Ⅲ相臨床試験（301試験）の速報結果について
	13日	・ 国際アルツハイマー病学会2012で自社創製のBACE阻害剤「E2609」に関する初の臨床試験データを口頭発表
	17日	・ 新規Wntシグナル阻害剤の創出をめざしたVerastem, Inc.との共同研究契約を締結
	19日	・ BACE阻害剤「E2609」、国際アルツハイマー病学会で初めての臨床試験データを発表
	24日	・ 「チョコラBBスパークリング ホワイトグレープ味」、日本で本格発売
27日	・ AMPA受容体拮抗剤「Fycompa」、抗てんかん剤として欧州委員会より承認を取得	

\*年月日はニュースリリース発信日を記載しております。

年 月 日	概 要
2012年7月 30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>肥満症治療剤「Belviq」、米国における販売承認権をアリーナ社から承継</li> <li>子会社カン研究所が国際戦略総合特区内の新施設への移転を決定</li> </ul>
2012年8月 1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針（買収防衛策）の継続について</li> </ul>
10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒト型抗ヒトTNF<math>\alpha</math>モノクローナル抗体「ヒュミラ」、日本で関節リウマチにおける関節の構造的損傷の防止に関する追加適応の承認を取得</li> </ul>
15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国研究子会社「モルフォテック」が抗体製造用パイロットプラントを新設</li> </ul>
20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「チョコラBB Feチャージ」、日本で新発売</li> <li>抗がん剤「レンバチニブメシル酸塩」、日本で希少疾病用医薬品に指定</li> </ul>
30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>抗てんかん剤「ルフィナミド」、日本でレノックス・ガスター症候群に関する承認申請を提出</li> </ul>
31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘリコバクター・ピロリ除菌に関するプロトンポンプ阻害薬、日本でアモキシシリン水和物製剤、クラリスロマイシン製剤またはメトロニダゾール製剤の3剤併用療法の追加適応を申請</li> </ul>
2012年9月 3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>抗がん剤「ハラヴェン」、韓国で承認を取得</li> </ul>
7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>抗がん剤「ハラヴェン」、オーストラリアで承認を取得</li> </ul>
11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>抗リウマチ剤「ケアラム」、日本で新発売</li> <li>自己検査用血液凝固分析器「コアグチェックXSパーソナル」、自己測定保険適用を取得し、日本で新発売</li> </ul>
12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「クリスタルヴェール<math>\alpha</math>」、日本で新発売</li> <li>持続性抗菌成分Etak配合「クリスタルヴェールマスク防菌24」、日本で新発売</li> <li>セーピンワクチン研究所と顧みられない熱帯病のワクチン開発に向けて提携</li> </ul>
13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>AMPA受容体拮抗剤「Fycompa」、欧州で新発売</li> </ul>
20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>e-65.net(イーローゴ・ネット) サイト内に「認知症地域支援マップ」を開設</li> </ul>
25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定医薬部外品ドリンク「チョコラBBハイパー」、日本で新発売</li> <li>眼科領域におけるオプション契約を参天製薬株式会社と締結</li> <li>AMPA受容体拮抗剤「Fycompa」、英国ハットフィールド工場における製剤化ラインのオープニングセレモニーを開催</li> </ul>
27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>エーザイデマンドチェーンシステムズが新グローバル生産体制に移行</li> </ul>
2012年10月 10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別化医療をめざしたプロダクトクリエーション体制の再編について（株式会社パルマビーズ研究所の発展的解散の決定）</li> </ul>
23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>AMPA受容体拮抗剤「Fycompa」、抗てんかん剤として米国食品医薬品局（FDA）より承認を取得</li> </ul>
25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>オズワルドクルス財団（FIOCRUZ）と、マラリアと顧みられない熱帯病に対する治療薬およびワクチンの開発に向けて提携</li> </ul>
29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒト型抗ヒトTNF<math>\alpha</math>モノクローナル抗体「ヒュミラ」、クローン病に関する承認条件（全例調査）の解除について</li> </ul>

\*年月日はニュースリリース発信日を記載しております。

## 13. 主要開発品

### <自社開発品一覧>

品目	効能効果等*	開発ステージ**	領域
<b>承認取得品</b>			
◎ Fycompa (部分てんかん)		(米欧) 承認	神経
○ ケアラム (関節リウマチ)		(日) 承認	血管・免疫反応
○ ソネグラン (部分てんかん単剤療法)	効能	(欧) 承認	神経
◎ ヒュミラ (関節の構造的損傷の防止)	効能	(日) 承認	血管・免疫反応
<b>申請中・申請準備中開発品</b>			
◎ E2080 (レノックス・ガストー症候群)		(日) 申請	神経
E7040 (肝細胞がんに対する肝動脈塞栓療法)		(日) 申請	がん・支持療法
クレブジン (慢性B型肝炎)		(中) 申請	消化器・肝臓
cinitapride (機能的ディスペプシア)		(中) 申請	消化器・肝臓
○ ソネグラン (部分てんかん小児適応)	効能	(欧) 申請	神経
Dacogen (急性骨髄性白血病(AML))	効能	(米) 申請	がん・支持療法
◎ バリエット (ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎における3剤除菌療法)	効能	(日) 申請	消化器・肝臓
ヒュミラ (潰瘍性大腸炎)	効能	(日) 申請	血管・免疫反応
アリセプト (ドライシロップ剤)	剤形	(日) 申請	神経
○ バリエット (ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤併用パック製剤)	剤形	(日) 申請	消化器・肝臓
<b>臨床試験中開発品</b>			
Fycompa (部分てんかん)		(日中ア) PⅢ	神経
E5501 (特発性血小板減少性紫斑病(ITP))		(米欧ア) PⅢ	血管・免疫反応
E5564 (重症敗血症)		(日米欧) PⅢ	血管・免疫反応
○ E7040 (多血性腫瘍に対する血管塞栓療法)		(日) PⅢ	がん・支持療法
E7080 (甲状腺がん)		(日米欧ア) PⅢ	がん・支持療法
MORAb-003 (プラチナ感受性卵巣がん)		(日米欧ア) PⅢ	がん・支持療法
Fycompa (全般てんかん)	効能	(日米欧ア) PⅢ	神経
ハラヴェン (乳がんセカンドライン)	効能	(米欧) PⅢ	がん・支持療法
ハラヴェン (非小細胞肺がん)	効能	(日米欧ア) PⅢ	がん・支持療法
ハラヴェン (肉腫)	効能	(米欧ア) PⅢ	がん・支持療法
アリセプト (レビー小体型認知症)	効能	(日) PⅢ	神経
アリセプト (高度アルツハイマー型認知症)	効能	(中) PⅢ	神経
Inovelon/BANZEL/E2080 (レノックス・ガストー症候群の小児適応)	効能	(米欧) PⅢ	神経
アリセプト (高用量製剤<23mg錠>)	用法、剤形	(日) PⅢ	神経
E0302 (筋萎縮性側索硬化症(ALS))		(日) PⅡ/Ⅲ	神経
AS-3201 (糖尿病性神経障害)		(米欧) PⅡ/Ⅲ	神経
バリエット (低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制)	効能	(日) PⅡ/Ⅲ	消化器・肝臓
E5501 (手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症)		(米) PⅡ	血管・免疫反応
E5501 (C型肝炎に対するインターフェロン療法の実施および開始に支障をきたす血小板減少症)		(米) PⅡ	血管・免疫反応
E6005 (アトピー性皮膚炎)		(日) PⅡ	血管・免疫反応
E6201 (乾癬)		(米欧) PⅡ	血管・免疫反応
E7080 (子宮内膜がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
E7080 (メラノーマ)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
E7080 (グリオーマ)		(米) PⅡ	がん・支持療法
E7080 (非小細胞肺がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
E7820 (大腸がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
○ E7016 (メラノーマ)		(米) PⅡ	がん・支持療法
MORAb-003 (非小細胞肺がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004 (メラノーマ)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004 (大腸がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
○ MORAb-004 (肉腫)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
MORAb-009 (中皮腫)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
Fycompa (部分てんかん小児適応)	効能	(米欧) PⅡ	神経
ハラヴェン (肉腫)	効能	(日) PⅡ	がん・支持療法
ONTAK (メラノーマ)	効能	(米) PⅡ	がん・支持療法
Dacogen (AML 小児適応)	効能	(米) PⅡ	がん・支持療法
バリエット (機能的ディスペプシア)	効能	(日) PⅡ	消化器・肝臓
E7080 (肝細胞がん)		(日ア) PⅠ/Ⅱ	がん・支持療法

\* 効能：効能効果追加、用法：用法用量追加、剤形：剤形追加

\*\* 日：日本、米：米国、欧：欧州、中：中国、ア：日本・中国を除くアジア P = Phase：臨床試験段階

○：2012年4月以降の進捗、◎：2012年7月以降の進捗

## (1) がん・支持療法

製品名：**ハラヴェン** 開発品コード：**E7389** 一般名：**エリブリン** (抗がん剤/微小管ダイナミクス阻害剤)

【概要】 クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。乳がんをはじめ、各種固形がんの効果を目指しています。米国・シンガポール・欧州・日本・スイス等、42カ国で承認を取得しています。

【効能・効果追加】乳がんセカンドライン	米欧 PⅢ	2012年度申請予定	注射剤
【効能・効果追加】非小細胞肺癌	日米欧ア PⅢ	2014年度申請予定	注射剤
【効能・効果追加】肉腫	米欧ア PⅢ 日本 PⅡ	2014年度申請予定	注射剤

開発品コード：**E7820** (抗がん剤/ $\alpha$ 2インテグリン発現抑制剤)

【概要】 血管内皮細胞の接着分子であるインテグリン $\alpha$ 2の発現抑制作用により血管新生を阻害します。

大腸がん	米欧 PⅡ		経口剤
------	-------	--	-----

開発品コード：**E7080** 一般名：**レンパチニブ** (抗がん剤/VEGF受容体チロシンキナーゼ阻害剤・マルチキナーゼ阻害剤)

【概要】 血管内皮増殖因子(VEGF)の受容体であるVEGFR2のチロシンキナーゼおよび血管新生や腫瘍増殖に関わる他の複数のキナーゼをバランスよく阻害する、血管新生・腫瘍増殖阻害剤です。各種固形がんの効果を目指しています。

甲状腺がん	日米欧ア PⅢ	2013年度申請予定	経口剤
子宮内膜がん	米欧 PⅡ		経口剤
メラノーマ	米欧 PⅡ		経口剤
グリオーマ	米国 PⅡ		経口剤
非小細胞肺癌	米欧 PⅡ		経口剤
肝細胞がん	日ア PⅠ/Ⅱ		経口剤

開発品コード：**E7016** (抗がん剤/ポリADPリボースポリメラーゼ阻害剤)

【概要】ポリADPリボースポリメラーゼ(PARP)はDNA修復に関与する酵素です。PARP阻害剤は腫瘍細胞のDNA修復を阻害することによって抗腫瘍効果をあらわし、DNAに損傷を与える化学療法や放射線療法の効果を増強することを期待しています。

○ メラノーマ	米国 PⅡ		経口剤
---------	-------	--	-----

開発品コード：**MORAb-003** 一般名：**ファルレツスマブ** (抗がん剤/モノクローナル抗体)

【概要】 葉酸受容体 $\alpha$ (FRA)に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。

プラチナ感受性卵巣がん	日米欧ア PⅢ	2012年度申請予定	注射剤
非小細胞肺癌	米欧 PⅡ		注射剤

開発品コード：**MORAb-004** (抗がん剤/モノクローナル抗体)

【概要】 Tumor endothelial marker 1(TEM-1)/エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。

メラノーマ	米欧 PⅡ		注射剤
大腸がん	米欧 PⅡ		注射剤
○ 肉腫	米欧 PⅡ		注射剤

○：2012年4月以降の進捗、◎：2012年7月以降の進捗

開発品コード：MORAb-009 一般名：amatuximab (抗がん剤/モノクローナル抗体)

【概要】 メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。

中皮腫

米欧 PII

注射剤

製品名：Dacogen 開発品コード：E7373 一般名：デシタピン (DNAメチル化阻害剤)

【概要】 DNAメチル化阻害による細胞分化誘導作用を有します。すでに米国で骨髄異形成症候群(MDS)治療剤として承認を取得しています。また、米国で申請中の急性骨髄性白血病(AML)については、2012年3月に審査完了報告通知を受領し、今後の方針を検討しています。

【効能・効果追加】 急性骨髄性白血病(AML)

米国 申請(2011年5月) 受理(同年7月)

注射剤

【効能・効果追加】 急性骨髄性白血病(AML)小児適応

米国 PII

注射剤

製品名：ONTAK 開発品コード：E7272 一般名：denileukin diftitox

(抗がん剤/インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤)

【概要】 インターロイキン2(IL-2)の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上のIL-2受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。すでに米国でCD25(IL-2受容体の構成要素)陽性の皮膚T細胞リンパ腫治療剤として承認を取得しています。

【効能・効果追加】 メラノーマ

米国 PII

注射剤

開発品コード：E7040 (血管塞栓用ビーズ/医療機器)

【概要】 ポリビニルアルコール高分子からなる親水性の球状微粒子であり、注入用カテーテルを通じて対象の血管を物理的かつ選択的に塞栓する血管塞栓用ビーズです。微細で均一な球状の粒子であるため、血管径や腫瘍の大きさ等の対象範囲に合わせて、精密な塞栓が期待できます。

肝細胞がんに対する肝動脈塞栓療法

日本 申請(2010年12月)

血管塞栓材

○ 多血性腫瘍に対する血管塞栓療法

日本 PIII

血管塞栓材

## (2) 神経

製品名：アリセプト 開発品コード：E2020 一般名：ドネペジル (アルツハイマー型認知症治療剤)

【概要】 神経伝達物質のアセチルコリンを分解する酵素であるアセチルコリンエステラーゼを阻害することにより、脳内アセチルコリン濃度を高め、アルツハイマー型認知症(AD)の認知症症状の進行を抑制します。軽度および中等度のAD治療剤として、すでに世界90カ国以上で承認されており、米国、日本、カナダ、中南米やアジアの一部の国などでは高度ADにも承認されています。

【剤形追加】 ドライシロップ剤

日本 申請(2011年12月)

経口剤

【効能・効果追加】 レビー小体型認知症

日本 PIII 2012年度申請予定

経口剤

【効能・効果追加】 高度アルツハイマー型認知症

中国 PIII

経口剤

【用法・用量、剤形追加】 高用量製剤<23mg錠>

日本 PIII

経口剤

製品名：Fycompa 開発品コード：E2007 一般名：ペランパネル (AMPA受容体拮抗剤)

【概要】 グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に加え、全般てんかんの適応取得をめざした開発を進めています。欧州(ノルウェー、アイスランド含む)と米国の30カ国で承認を取得しています。

部分てんかん

◎ 欧州 承認(2012年7月)  
◎ 米国 承認(2012年10月)  
日中ア PIII

経口剤

【効能・効果追加】 全般てんかん

日米欧ア PIII

経口剤

【効能・効果追加】 部分てんかん小児適応

米欧 PII

経口剤

○：2012年4月以降の進捗、◎：2012年7月以降の進捗

開発品コード：**AS-3201** 一般名：**ラニレスタット**（糖尿病合併症治療剤／アルドース還元酵素阻害剤）

【概要】アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞内のソルビトール蓄積を抑制します。糖尿病の代表的な合併症である糖尿病性神経障害の治療剤として開発を進めています。

糖尿病性神経障害

米欧 PⅡ/Ⅲ

経口剤

製品名：**ソネグラン** 開発品コード：**E2090** 一般名：**ソニサミド**（てんかん治療剤）

【概要】幅広い抗てんかんスペクトラムを有し、忍容性の高いてんかん治療剤です。すでに成人部分てんかんを対象に単剤および併用療法の適応を取得しています。

○ 【効能・効果追加】部分てんかん単剤療法

欧州 承認（2012年6月）

経口剤

○ 【効能・効果追加】部分てんかん小児適応

欧州 申請（2012年5月）受理（同年6月）

経口剤

開発品コード：**E0302** 一般名：**メコバラミン**（筋萎縮性側索硬化症）

【概要】メコバラミン（生体内補酵素型ビタミンB<sub>12</sub>）製剤であり、傷ついた末梢神経を修復する作用があります。すでに末梢性神経障害治療剤として広く使われており、新たに、筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療剤をめざしています。

筋萎縮性側索硬化症（ALS）

日本 PⅡ/Ⅲ

注射剤

製品名：**Inovelon(欧)／BANZEL(米)** 開発品コード：**E2080** 一般名：**ルフィナミド**（てんかん治療剤）

【概要】新規構造のトリアゾール誘導体で、過剰電荷を帯びている脳内ナトリウムチャネルの活動を調節します。すでにレノックス・ガストー症候群の併用療法として、欧州では「Inovelon」、米国では「BANZEL」のブランド名で承認を取得しています。

◎ レノックス・ガストー症候群の併用療法

日本 申請（2012年8月）

経口剤

【効能・効果追加】レノックス・ガストー症候群の小児適応

米欧 PⅢ

経口剤

### (3) 血管・免疫反応

製品名：**ヒュミラ** 開発品コード：**D2E7** 一般名：**アダリムマブ**（ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体）

【概要】ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体であり、自己免疫疾患の炎症反応に関わる中心的なサイトカインであるTNF $\alpha$ を中和します。日本では関節リウマチ、乾癬、クローン病、強直性脊椎炎、若年性特発性関節炎に加えて関節の構造的損傷の防止の適応を取得しています。

◎ 【効能・効果追加】関節の構造的損傷の防止

日本 承認（2012年8月）

注射剤

【効能・効果追加】潰瘍性大腸炎

日本 申請（2012年3月）

注射剤

開発品コード：**E5564** 一般名：**エリトラン**（重症敗血症治療剤／エンドトキシン拮抗剤）

【概要】エンドトキシン拮抗作用により、炎症性サイトカインの遊離を阻害し、エンドトキシンによって引き起こされる臨床症状の発現を抑制します。

重症敗血症

日米欧 PⅢ

注射剤

開発品コード：**E5501／AKR-501** 一般名：**avatrombopag**

（血小板減少症治療剤／トロンボポエチン受容体作動剤）

【概要】トロンボポエチン受容体のアゴニストで、血小板増加を促進させる経口の新規化合物です。血小板減少を示す病状への効果を期待しています。

特発性血小板減少性紫斑病（ITP）

米欧ア PⅢ

2013年度申請予定

経口剤

手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症

米国 PⅡ

経口剤

C型肝炎に対するインターフェロン療法の実施および開始に支障をきたす血小板減少症

米国 PⅡ

経口剤

○：2012年4月以降の進捗、◎：2012年7月以降の進捗

開発品コード：E6201 (新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤)

【概要】 新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤です。乾癬において、炎症性の細胞内シグナル伝達の抑制や皮膚の上皮細胞の異常増殖を抑制することによる効果を期待しています。

乾癬

米欧 PII

外用剤

開発品コード：E6005 (ホスホジエステラーゼ4阻害剤)

【概要】 細胞内情報伝達物質サイクリックAMP の分解酵素であるホスホジエステラーゼ4の働きを阻害します。アトピー性疾患の諸症状を抑える治療薬となることを期待しています。

アトピー性皮膚炎

日本 PII

外用剤

製品名：ケアラム 開発品コード：T-614 一般名：イグラチモド (関節リウマチ治療剤)

【概要】 炎症性のサイトカインおよび免疫グロブリン産生を抑制し、関節リウマチへの効果を示します。日本において、関節リウマチの効能効果で承認を取得しました。現在日本で承認されている経口抗リウマチ薬の中で、本剤は初めて国内の治験で標準治療薬であるメトトレキサート (MTX) 効果不十分の患者様に対して、MTXへの上乗せ使用時の有効性を示しました。

○ 関節リウマチ

日本 承認 (2012年6月)

経口剤

#### (4) 消化器・肝臓

製品名：パリエット/アシフェックス 開発品コード：E3810 一般名：ラベプラゾール (プロトンポンプ阻害剤)

【概要】 プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌などの承認を取得しています。

◎ 【効能・効果追加】ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎における3剤除菌療法 日本 申請 (2012年8月) 経口剤

○ 【剤形追加】ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤併用バック製剤 日本 申請 (2012年5月) 経口剤

【効能・効果追加】低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 日本 PII/III 経口剤

【効能・効果追加】機能的ディスペプシア 日本 PII 経口剤

一般名：クレブジン (慢性B型肝炎治療剤)

【概要】 DNAポリメラーゼ阻害による抗ウイルス作用に基づく慢性B型肝炎治療剤です。

慢性B型肝炎

中国 申請 (2010年10月)

経口剤

一般名：cinitapride (上部消化管機能改善剤)

【概要】 消化管神経叢に存在する5-HT<sub>2</sub>および5-HT<sub>4</sub>受容体を刺激することによりアセチルコリンの遊離を増大させ、上部消化管運動を改善します。また抗ドーパミン作用も有し、ドーパミン受容体を阻害することによりアセチルコリンの放出抑制を解除し上部消化管機能を改善します。

機能的ディスペプシア

中国 申請 (2011年10月)

経口剤

○：2012年4月以降の進捗、◎：2012年7月以降の進捗